

2022年5月20日

第一回大津市自治連合会定例会

山中比叡平学区まち協会長 大木文雄

第一回大津市自治連合会定例会が、2022年5月12日(木)14時から琵琶湖ホテルで開催されました。この日は、定例会、総会、意見交換会の三つが同日に開催されましたので、午後2時から夜の8時半まで、とても疲れる一日になりました。

さて、2時からの定例会では、最初に大津市民病院の新委員長の日野明彦氏が、本人による自己紹介と今回の不祥事に関して、状況報告と市民にご迷惑をかけたことを陳謝しました。

すると自治連合会の某氏から激しい批判の意見が出されました。曰く。「市民と一番密接な関係をもっている自治連合会に、自治連合会の方から促されて初めて、今になってやっと自治連合会の席で状況報告するとは、あまりにも遅きに失する。市民病院はもっと市民の方々に目を向けなければならないし、それは自治連合会にも率先して色々な情報を知らせるということの意味するのではないか。」市民病院院長の日野氏は、これほど激しく批判されるとは思っていなかったようでしたが、事態はそれほどに深刻であることが、その場で表面化しました。

次に、新年度自治連合会会長の新名簿が配布されましたが、今年度は36学区の内、8名の学区会長が、交代し、新任の各学区の会長が紹介されました。

3時半からの総会では、議案第5号まで議論され、全て承認されました。第5号議案では、大津市自治連合会の新役員が、その場で選出されました。会長には田上学区の北川氏、事務局長には堅田学区の前川氏、そして3人の副会長、会計1人、理事7人、監事2人が選任されました。

6時からの意見交換会ですが、昨年は、コロナ禍で一度も意見交換会が開催されませんでした。ですから、今回は、私にとっては、まち協会長になって初めての意見交換会となりました。意見交換会には、佐藤市長や清水副市長も出席していましたから、市の中核の方々に接近できる良い機会となりました。

佐藤市長は次のように言っていました。「今年度は、サミットが日本で開催されますが、大津市は、環境についてのサミットを受け持つことになりました。」あるいは次のようにも発言しました。「今年も又《地域元気作り事業補助金》を立ち上げました。積極的に応募していただき、まち協の為に有効に使ってください。」

一方、清水副市長は、国土交通省から来られた方で、特に災害対策に対する専門家で、大津市の災害対策に関して責任を負っている方でした。山中比叡平の災害についても大きな関心をもっていました。

以上、第一回大津市自治連合会の定例会と総会と意見交換会についての概略をご説明いたしました。次回の第2回定例会は、6月1日(水)に開催されます。